令和2年度の江別市学校給食費について

当市の給食費単価は、平成26年4月の改定を最後に据え置いていますが、主食費は、改定当時から約7.1%上昇しており、牛乳費は、改定当時から約10.9%上昇しています。これらの上昇分は、副食費を切り詰めることで対応していますが、学校給食摂取基準の栄養量を確保するための献立の工夫も限界に達しつつあることから、当理事会において、審議していただくこととなりました。

1. 学校給食に係る費用の負担について

学校給食法第11条第1項では、給食に従事する職員の人件費や施設・設備費などの経費は設置者が負担し、同条第2項では、給食の食材費は保護者が負担すると定められており、給食の食材費については、保護者に負担していだいています。

2 主食費・牛乳費の状況について

強力粉は、主食のパン、ラーメンの原料の強力粉、うどんの原料の薄力粉は、平成29年に一時下がりましたが、翌年年以降増加に転じています。

精米の単価は、毎年値上がりしており、平成27年から4年間で約20.7%上昇しています。 牛乳は、毎年少しずつ上昇し、令和元年度では平成27年度と比較して8.59%の上昇となっています。

道産小麦粉単価年度別比較(1kgあたり)

種類	H27 年度 (円)	H28 年度 (円)	H29 年度 (円)	H30 年度 (円)	R 元年度 (円)	H27-R 元比 (円)	H27-R 元比 (%)
強力粉	167. 0	173. 0	165. 0	176. 0	186.0	+19. 0	+11. 34
普通粉	132. 0	136. 0	134. 0	143. 0	153. 0	+21. 0	+15. 91

精米単価年度別比較(1kgあたり)

ſ	千壬 米五	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	H27-R 元比	H27-R 元比
	種類		(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(%)
	精米	256. 0	264. 0	278. 0	306. 0	309.0	+53. 0	+20. 70

牛乳単価年度別比較(1個 200cc あたり)

4壬 米五	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	H27-R 元比	H27-R 元比
種類	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(%)
牛乳	40. 65	41.82	42.09	42. 39	44. 14	+3. 49	+8. 59

※単価はいずれも消費税抜き価格

3. 副食費の状況について

平成26年以降、主食費・牛乳費の上昇に対応するために、副食費を減額することにより、価格を据え置いてきました。

文部科学省が定める学校給食摂取基準の栄養量を確保するために、栄養教諭が献立に様々な工夫を凝らしてきましたが、その工夫も限界になりつつあります。

		H27 年度 (円)	H28 年度 (円)	H29 年度 (円)	H30 年度 (円)	R 元年度 (円)	H27-R 元比 (円)	H27-R 元比 (%)
小	低学年	152. 00	152. 00	149. 00	146. 00	143. 06	-8. 94	-5. 89
学	中学年	152. 00	152. 00	149.00	146. 00	142. 93	-9. 07	-5. 97
校	高学年	152. 00	152. 00	149.00	146. 00	142. 64	-9. 36	-6. 16
中学校		197. 00	197. 00	195. 00	191.00	187. 60	-9. 40	-4. 77

4. 前回改定時(平成26年度)と現単価の比較について

主食費は、小学校低学年で5.27円、中学年で5.40円、高学年で5.69円、中学校で5.73円の増加、牛乳費は、小学校・中学校ともに4.67円の上昇となっています。これら主食費と牛乳費の上昇分は、副食費の減額することによって、一食の単価を維持しています。小学校低学年で9.94円、中学年で10.07円、高学年で10.36円、中学校で10.40円の下降となっています。

			小学校		中学技	
		低学年	中学年	高学年	中学校	
一食單	単価	268. 00	271. 00	274. 00	327. 00	
H26 年度	主食費	72. 00	75. 00	78. 00	86.00	
TZ0 平及 (円)	副食費	153. 00	153. 00	153. 00	198. 00	
	牛乳費	43.00	43. 00	43. 00	43. 00	
D二左连	主食費	77. 27	80. 40	83. 69	91. 73	
R 元年度 R 元年度	副食費	143. 06	142. 93	142. 64	187. 60	
(円)	牛乳費	47. 67	47. 67	47. 67	47. 67	
H26-R 元比	主食費	+5. 27	+5. 40	+5. 69	+5. 73	
	副食費	-9. 94	-10. 07	-10. 36	-10. 40	
	牛乳費	+4. 67	+4. 67	+4. 67	+4. 67	
HOE D = IT	主食費	+7. 32	+7. 20	+7. 29	+6. 66	
H26-R 元比 (%)	副食費	-6. 50	-6. 58	-6. 77	-5. 25	
(%)	牛乳費	+10. 86	+10. 86	+10. 86	+10. 86	

5. 来年度の給食費について

平成26年度以降、給食の一食単価を据え置くために副食費を減額して対応していましたが、 副食に係る食材費も年々上昇しています。これまで、栄養教諭の献立の工夫等により、副食に係 る食材費を切り詰めながら、学校給食栄養摂取基準の栄養量を確保してきましたが、すでに限界 になりつつあることから、食文化に触れ、食の楽しさを感じる給食を継続することができるよう、 給食費改定を含めた来年度の給食費について審議をお願いいたします。

令和2年度江別市学校給食費単価の改定案について

1. 給食費改定の理由

平成26年度以降、給食の一食単価を据え置くために副食費を減額して対応していましたが、 副食に係る食材費も年々上昇しています。これまで、栄養教諭の献立の工夫等により、副食に係 る食材費を切り詰めながら、学校給食栄養摂取基準の栄養量を確保してきましたが、すでに限界 になりつつあることから、今後も継続的に、学校給食栄養摂取基準に定められた栄養量を確保す るとともに、児童生徒が食文化に触れ、食の楽しさを感じる給食の提供ができるよう、給食費単 価の改定が必要であると考えています。

2 給食費改定額の試算

改定後の主食費、牛乳費は、令和元年度単価を前提として試算します。副食費については、野菜 16 品目、肉 4 品目、加工品 62 品目の計 82 品目について、平成 26 年度と令和元年度の増加率を算定したところ、6.96%となることから、平成 26 年度の副食費の単価に 6.96%を乗じた金額とします。

3. 改定後の給食単価

(1) 1食単価

	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
令和元年度	268 円	271 円	274 円	327 円
令和2年度	289 円	292 円	295 円	351 円
増減額	+21円	+21円	+21円	+24円
増減率	+7.84%	+7.75%	+7.66%	+7.34%

(2)1か月、12か月の増減額

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
1 4 1	改定前	4, 556 円	4, 607 円	4, 658 円	5, 559 円
1 か月 (17 食)	改定後	4, 913 円	4, 964 円	5, 015 円	5, 967 円
(I/ 良 <i>)</i>	増減額	+357円	+357円	+357円	+408円
10 45 🗆	改定前	54, 672 円	55, 284 円	55, 896 円	66, 708 円
12 か月 (204 食)	改定後	58, 956 円	59, 568 円	60, 180 円	71, 604 円
(204 良)	増減額	+4, 284 円	+4, 284 円	+4, 284 円	+4,896円

江別市学校給食費単価の年度別推移

(単位;円)

						小学	校						中学校			
年度	低学年				中学	年			高学	年			中子	-作X 		
十 及	主食 費	副食 費	牛乳 費	1食単価	主食 費	副食 費	牛乳 費	1食単価	主食費	副食 費	牛乳 費	1食 単価	主食 費	副食 費	牛乳 費	1食 単価
平成26年度	72.00	153.00	43.00	268	75.00	153.00	43.00	271	78.00	153.00	43.00	274	86.00	198.00	43.00	327
令和元年度	77.27	143.06	47.67	268	80.40	142.93	47.67	271	83.69	142.64	47.67	274	91.73	187.60	47.67	327
平成26~令和 元 (増減額)	5.27	-9.94	4.67		5.40	-10.07	4.67		5.69	-10.36	4.67		5.73	-10.40	4.67	
令和2年度 改定額(案) (副食費6.96%増)	77.27	163.65	47.67	289	80.40	163.65	47.67	292	83 <u>.</u> 69	163.65	47.67	295	91.73	211.78	47.67	351
令和元~令和2 (増減額)	0.00	20.59	0.00	21	0.00	20.72	0.00	21	0.00	21.01	0.00	21	0.00	24.18	0.00	24
令和元~令和2 (増減率)	0.00%	14.39%	0.00%	7.84%	0.00%	14.50%	0.00%	7.75%	0.00%	14.73%	0.00%	7.66%	0.00%	12.89%	0.00%	7.34%

平成26年度と令和元年度の食材費の比較

	品目数		H26年度			R1年度						
		数量 ^(kg)	単価 (円) 金額÷数量	金額 (円)	数量 (kg)	単価 (円) 金額÷数量	金額 (円)	増減率	R1年度 支払実績 (4月~8月) (円)	構成比	増減率 (再掲)	加重平均
野菜	16	93,225.3	182.53	17,015,997	75,589.6	195.00	14,739,500	6.83%	12,396,264	11.57%	6.83%	0.79%
肉	4	20,103.0	1025.30	20,661,440	16,823.0	1078.53	18,144,110	5.19%	19,024,375	17.76%	5.19%	0.92%
加工品	62	575,900.0	126.17	72,661,390	511,345.9	135.55	69,314,584	7.43%	75,693,946	70.67%	7.43%	5.25%
	82	689,228.3		110,338,827	603,758.5		102,198,194		107,114,585			6.96%

構成比を加味した平成26年度から令和元年度までの増減率

※ 野菜16、肉4、加工品62の計82品目は、平成26年度と令和元年度に共通して使用された食材